



第67号
 (発行所)
 真宗大谷派
 松岡山 廣讚寺
 中村区城屋敷町3-30
 TEL (052) 411-5301
 FAX (052) 411-5341
 携帯 090-1568-4623
 <E-mail>
 matsuka@kosanji.or.jp

門徒会ご命日のつどい奉仕団

真鍋秀賢

奉仕団と推進員養成講座の参加者、スタッフのお寺関係者総勢六十五名が名古屋駅を七時に本山へ向かって出発した。天候は当初、若干雨がぱらついていたがしばらくすると最近の猛暑の日に戻っていった。

本山に着くと奉仕団は二班に分けられ、私は第二班にということになった。三日間教育をしていたく先生は東京にあるお寺の住職で森芳樹という先生、補佐をしていただく人は鳥取にあるお寺の住職で藤野顕生という人だった。森先生は別として今回引率して下さる寺の関係者の年はおそらく三十代、四十代の人

ほとんどであろう。それに対して生徒の我々はほとんど七十代で親子ほど年の差がある。先生もさぞやりにくかったであろう。

森先生の講義のテーマはその都度違うが一貫して肯定文が現実是否定文になっているということのように思われる。たとえば

「聞く」・・・

「聞いていない」・・・

「本人は聞いているつもりが実際は聞いていない」といったようである。こう考えてみるといろいろ思い当たるふしがある。今一度今の生活を振り返ってみようと思う。

藤野先生は朴訥ぼくとつとした感じで、私は非常に好感がもてた。今後更に経験を積まれてよき指導者となられることを期待したい。

なにはともあれ、暑かったが無事に終わった。

本山は格別なり

釋綽智

名古屋教区二十組の推進員養成講座後期講習は二泊三日で京都の東本願寺で行われました。二十組の各寺院から三十数名の推進員と、門徒会の方々十数名に就職の方々が加わり、バス二台で上山しました。廣讚寺からは推進員十名と門徒会二名と任職が参加しました。推進員は四班のグループに分けられ、各班九名中に

廣讚寺の方々が二・三名みえました。同朋会館の各班の部屋は約四十畳くらいの広い部屋でしたので休憩時では寝転んで、くつろぐことが出来ました。

全体の教導は前期と同じうめやま榎山正樹先生が、そし



加藤浄恵さんと榎山正樹先生

て各班には本山から補導が一人入りました。法話は榎山先生、同朋会館での生活全体の指導は補導の方々がやって下さいました。

私の班の班長は、おさ長日子氏でした。近江の寺から同朋会館に時々お手伝いしてこられたと言われていましたが、お若いのにとても仏事や仏法、本山の諸殿のことに造詣ぞうけいが深く、また説明がうまくて感心しました。

初日の御影堂での結成式しき、夕事勤行と二日目の帰敬ききょう式は二十名ほどでしたが、とても感動しました。本山から一步も外に出ることもなく三日間の仏事漬けは仏法のことと自分の生き方について考えさせられて本当



により勉強になりました。思いついたことを少しご報告します。

一、推進とは自ら、聖人の御教^{みおし}えを信じて

生活をする事であるとする

その一つの方法は毎日、正信偈と同朋奉讚を勤めることであろう。

二、寺の行事や法話などには友人を誘ったりして積極的に参加しよう

そこでわからないことがあったら住職に相談したらよい。

三、本山参拝が一番よい

帰敬式もお手次の寺でやるのも一緒のことであるが、聖人の御真影の前で受けるのは格別いいと思つた。

四、同朋会館は自己反省、改革の場である

風呂、トイレは清潔、エアコン完備で食事は精進

料理というより、ごく普通の家庭料理だった。食前・食後の言葉は全員で合掌して唱和し、後片付けも手伝ったりした。部屋の掃除などやり慣れていないこともあり少ししまごついてしまったが、よくやれたなあと自己満足している。

奉仕研修は小松と中津の門徒さんと共に行われた。

私たち名古屋教区二十組だけが本山で研修するのかと思つていましたが、全国各地から上山されていて食堂や清掃奉仕の時も同じ時を過ごしました。

今回、忘れられないのは、私の班が中心になって宣誓式の文案を協議した時、なかなか



まとまらず、締切りの時間がせまっっていて、補導の長
紀子氏が血相を変えて

「しばらく時間を与えます。皆で考えをまとめなさい」と部屋を出ていかれた。補導を怒らせてしまったと静まりかえるが、まもなく部屋に戻ってきて・・・うまくまとめられたのでホッとしました。いつも丁寧に指導を受けた方であるのに、分別のない自分達でした。ご寛恕のほどを・・・

これからは本山で多くの経験や学習をしましたが、これを生かしていくよう努力したいと思っています。



行事予定

十月 十二日(土) 七時半 同朋委員会・例会

(役員は七時)

十九日(土) 二時～四時 学習会

二十八日(月) 十時 二十八日講・女人講

十一月 月上旬 常任委員会

九日(土) 七時半 同朋委員会・例会

(役員は七時)

十九日(火) 二時～四時 学習会

二十八日(木) 十時 おみがき

二十八日講・女人講

二十九日(金) 九時 報恩講準備

三十日(土) 十時 報恩講

十二月 一日(日) 十時 報恩講